

新大

キャンパスライフをもっと豊かに

広報

| 特集 |

密着！ 留学生の新大ライフ

教えて! あなたのゼミ・研究室 理学部 生物学プログラム 長束研究室

Interview!! 自分の居場所 学生編/OB・OG編

新大ふしぎ発見 六花寮を探検! 六花寮の形は新大の校章!?

チャレポ!! (Challenge & Report) 写真部

ひとりdeli 魚焼きグリルでバン格拉タン



No.213

[2019年 冬号]



真の強さを学ぶ。

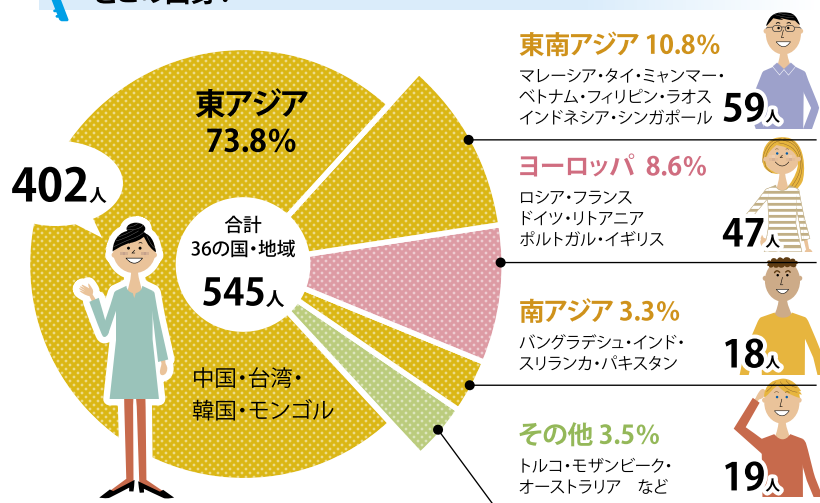
新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

留学生データ × 新潟大学

新大で学ぶ留学生はどの出身で、どこに所属していて、どこに住んでいるのかリサーチしました。

留学生のデータは2019年5月1日現在のものです。

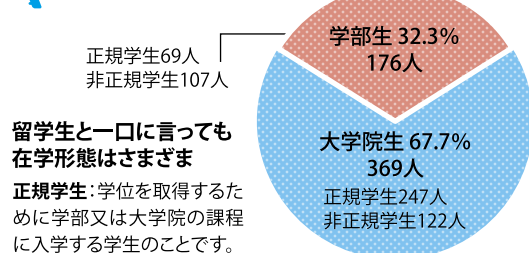
どこ出身？



36の国・地域から545人

日本海側ラインの中心 新潟に位置する大規模総合大学の新大は、東アジアとそれを取り巻く地域（環東アジア地域）に多くの交流協定校があり、この地域からの留学生が多数を占めています。ロシア（ロシアも環東アジア地域）からの留学生は23人。国・地域別では第4位の人数で、この割合の高さは新大ならではの特徴のよう。

どこに所属？



留学生と一口に言っても在学形態はさまざま

正規学生: 学位を取得するために学部又は大学院の課程に入学する学生のことです。

非正規学生: 交流協定校からの交換留学生など、短期間（半年、1年など）だけに在籍し授業を履修する又は研究指導を受ける学生のこと。新大で学位は取得しません。

国費外国人留学生

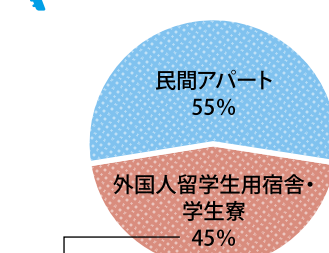
39人

学部2人
大学院37人

国費外国人留学生って知ってる？

日本政府（文部科学省）の奨学金を受給している留学生。在外日本公館での選考に合格するなどして選ばれた優秀な学生で、母国と日本との架け橋になることが期待されています。

どこに住んでいるの？



外国人留学生用宿舎（国際交流会館、大学借上げアパート）・学生寮（五十嵐寮・六花寮）

FL-SALC (エフエル・サルク)

様々な国から来た留学生と楽しく会話ができます！

- 場所／図書館B棟ラーニングcommons2F
- 内容／留学生との外国語での自由会話、英語学習に関する相談、指導、テーマ別グループ学習 など

詳しい情報はコチラ

Mail <http://www.iess.niigata-u.ac.jp/eigo/english/support.html>

Twitter @fl_salc

Facebook @flsalcniiigatauniversity



留学生と交流するには？

新大には留学生と交流できる場がたくさん！そのなかの主な2つを紹介！



「写真をとってもいいですか？」取材にあたリス
タッフからこう尋ねたところ、先生が生きた日本語
の例として取りあげ、みんな
で繰り返し声に出してくれました。

講義を担当しているのは



教育・学生支援機構
コモンリテラシーセンター
(日本語学・日本語教育学専門)
池田英喜 准教授
イケダ ヒデキ

日本語初学者向けの今回の講義では、日本語の発音や、会話でよく使うフレーズが題材でした。リズムに乗って皆で日本語を繰り返したり、会話のデモンストラクションをしたりとエネルギーグッシュに講義は進み、始まったばかりとは思えないほど打ち解けあった雰囲気でした。参考書で勉強するような内容のみならず、喋るときの表情や日本語の微妙なニュアンスの違いなどの説明もあったことが印象的です。先生の飾らない振る舞いが留学生の心を開き、教室の楽しい雰囲気を作っているようでした。

潜入！

留学生×講義

母国とは言語や文化の異なる日本で暮らす留学生。彼らは、新潟大学でどのような講義を受けているのでしょうか。今回は、9月から新潟大学に来ている留学生たちの講義に潜入してみました！

INTERVIEW

講義に出席していた留学生に
お話を聞いてみました！

もともととは教師をしていましたが、日本語や日本の文化を学びたくて留学しました。日本でたくさん
さんの経験を積みみたいです。



コスタリカ出身
マリーアさん

本やニュースで日本の情報を知り、世界で活躍しているところを見たため留学先を選びました。今日の講義も楽しかったです。



南スーダン出身
アジーンさん

日本語のリズムを感じ、自然と体も動き出します。積極的に講義に参加する姿勢の学生が多かったです。



国際ボランティアサークル

様々な活動を通して留学生と交流しています！

- 言語学習会
言語や文化を留学生に教えてもらう
- 日本語チャット
テーマを決めて留学生と日本語で話す
- LEO【レオ】
留学生と一緒に昼食を食べながらレクリエーションをする
- コーヒーアワー
各国の料理を作って振る舞う など



詳しい情報はコチラ

Mail nukokubora@gmail.com
Twitter [@kokubora](https://twitter.com/kokubora)
Instagram [@niigata_kokubora](https://www.instagram.com/niigata_kokubora)

留学生オススメ

×

新潟市内 観光スポット

留学生はどのような毎日を過ごしているのでしょうか？

今回は3人の留学生にお話を聞きました！そして、3人におすすめスポットを案内してもらい、留学生から見た新潟の魅力を新大広報スタッフが一緒に体験してきました！留学生目線の楽しみ方を知ること新たな発見があるかも！？



メイさん

Siriwongjag Kattaleeya

タイ出身 コンケン大学
交換留学生(留学センター)

コンケン大学で専攻している日本語の上達のため、留学生向けの日本語の授業を幅広く履修。



アンドレさん

Pinto Teixeira Andre Miguel

ポルトガル出身
大学院現代社会文化研究科博士前期課程 2年

文化人類学の研究のため新潟大学へ。よく、新潟県内でフィールドワークを行っている。学部時代はアジア言語文化を専攻。



エマニュエルさん

Gallissaires Emmanuel Quentin Yannick

フランス出身 ボルドー大学
交換留学生(大学院現代社会文化研究科博士前期課程)

日本で生活することで日本語の上達とともに日本の文化を理解したいと考え留学。日本語の授業を中心に履修。

日本の文化に触れるならココ！

北方文化博物館 〈ほっぽうぶんかはくぶつかん〉 新潟市江南区沢海2-15-25



アンドレさんは掛け軸を見て、「漢字に興味があり、特に大広間の床の間に飾ってある大きな掛け軸に書かれた漢詩は、農民が一生懸命に農業に取り組む様子が伝わってきて興味深い。」と語ってくれた。

阿賀野川の西岸にある集落の沢海(そうみ)地区で江戸時代中期に端を発し、大地主となった伊藤家の館。見どころとしては、当時の生活のまま残っている建物、昭和に入り財団化した際に造られた庭、数々の美術品があげられる。「日本の建築が好きなので、このような場所はとても面白い。フランスには無い様式で、屋敷から見える庭も趣深く、置いてある石や木々にそれぞれ意味や表現しているものがあるのが興味深い。」とエマニュエルさんは言う。





ここから見る夜景がお気に入り!

新潟日報メディアシップ20F

そらの広場 〈そらのひろば〉新潟市中央区万代3-1-1

地上約100メートルの高さがあり、360°新潟市街を眺望できる。夕日や夜景を見られることで有名。

メイさんは「萬代橋の見える方角が一番お気に入り。萬代橋と、NTTビルに描かれたトキの絵と一緒に視界に入るのが良い。そこから少し東に視点を移し、信濃川と日本海がつながる港が見える風景も好き。」と景色を見ながら魅力を伝えてくれた。

- 1 NTT東日本万代橋ビルに描かれた朱鷺を背景に。
- 2 3人で「はいチーズ!」
- 3 晴れた日には新潟市外まで見渡すことができる。



日本酒好きのアンドレさん行きつけ!

ぼんしゅ館 新潟驛店

〈ぼんしゅかん にいがたえきてん〉
新潟市中央区花園1-96-47

新潟駅CoCoLo西館にあるお酒ミュージアム。新潟県内にある全蔵の日本酒を試飲できる。500円で最大5杯まで啺き酒が可能。啺き酒コーナーの横には、全国各地から取り寄せられた塩が並び、塩をなめながら日本酒を楽しむことができる。塩をなめることで甘みが増したり辛くなったりと、いろいろな楽しみ方ができておすすめである。地酒コーナーの他に、新潟名産の工業品や書籍を売っているコーナーもある。

「新潟を去るまでに新潟の地酒に親しみたいと思い、最近新潟駅に来たらよく寄る。辛口の日本酒が好み。北雪・鶴亀あたりの銘柄がお気に入り、この前ポルトガルに帰国した時も、日本酒の一升瓶を父親に買っていった。」とアンドレさんは教えてくれた。



入口にある人形と並び4人(?)笑顔で記念撮影





留学生常連客が多数!?

マルグッタ51番地 新潟市西区大学南2-25-20

日本人には本音と建前の文化があるが、思っていることをはっきりと言葉にして伝える習慣がある留学生たちにとって、日本人とのコミュニケーションは難しいと3人は口を揃える。しかし、このマスターは何でもはっきりと口にする性格のため、留学生たちにとって居心地がいいらしく、エマニュエルさんの他にも多くの留学生が通っているそう。ランチはパスタかカレーが選べ、ケーキとコーヒー付きで750円(取材当時)。エマニュエルさんは月1で通っており、パスタがお気に入りだそうだ。



カウンターにあるランプには留学生からももらった様々な国のお土産が飾られている。



留学生オススメ × 五十嵐キャンパス周辺の飲食店



SNSがきっかけでお気に入り!

にむらや菓子舗 寺尾店 新潟市西区寺尾西2-7-7

新大から東へ向かう西大通沿いにある和菓子専門店。店内で甘味を食べることができ、Instagramでも多く投稿されている。メイさんはホストファミリーや友人とInstagramで話題となっているものを見つけてはよくそこへ行くそうだが、にむらやのかき氷が話題となっており、それがきっかけでこの店へ行き、今ではお気に入りのお店なのだそう。今回は冬号の取材ということもあり、同じく人気商品の新潟名物笹団子を食べた。メイさんは笹団子を食べるのは初めてで、「想像以上に美味しい! 餅があまり好きではないので、食べる前はどうかだろうと思ったけれど、餅よりも食べやすい。笹の香りもいい!」と笑顔でほおぼっていた。



スタッフに笹の剥き方を教わった3人は、意外な食べ方だったらしく、驚いた様子だった。



今井 ● どうして留学先として日本を選んだのですか？

メイ ● タイの大学で日本語を学んでいたの、上達したいなと思って。

エマニエル ● 私は専門が日本語文化だから、日本の芸術とか社会問題とか歴史の授業を受けたくて日本へ留学しました。

アンドレ ● 学部生のときは、アジア言語文化が専門で、僕の周りはアジア関係の仕事に就いている人が多く、僕も同じようにアジアの国に關係のある仕事に就きたいと思い、日本に来ました。

藤田 ● 2人も、日本で学んだことを活かせる仕事に就きたいと思いませんか？

エマニエル ● できれば、日本語を将来の仕事で使いたいです。留学のきっかけの一つに日本の高級ホテル

で働きたいという夢がありました

が、新潟大学での留学が終わったら新潟のイラスト専門学校に進学したいと思うようになりました。最初は両親からは反対されたけど、今は就職する前にやってみてと言ってくれたので、挑戦しようと思います。

メイ ● 私は将来、通訳者になりたいと思います。

今井 ● では、日本に興味を持ったきっかけはなんですか？

メイ ● 料理とかアニメとか。

エマニエル ● 私は、子どものときからアジアに興味があり、その中でも、日本文化のサムライ、歴史、建築に惹かれました。あと、マンガも好きでした。



●エマニエルさん

アンドレ ●僕は漢字に興味があつて中国語の勉強をしていたのですが、漢字をある程度学んだ後、日本の文学も調べたら面白いなと思って。

嶋田 ● どうやって日本語を覚えましたが？

メイ ● 漢字ならたくさん書く。付箋をいっぱい部屋の中に貼って覚えられるようにしました。



●メイさん

エマニエル ● 私は授業中、いろいろな質問をします。

アンドレ ● 学部を卒業した後、3年間ポルトガルで社会人をやっていたときに、日本で買った小説を通勤電車内で読んでいました。

藤田 ● では、日本に多くの大学がある中で、新潟大学を選んだのはなぜですか？

メイ ● タイで日本語を専攻してたんですけど、タイでは実際に日本語で会話をする機会がないので、日本語を上達させたいと思い留学することにしました。私は海がないところの出身ということもあり、コンケン大学と交換留学をしている大学の中で、自然を感じながら学べる大学に行きたいと思っていました。新潟大学は海に近く、新潟は山もあり自然が多いうえに、田舎過ぎないというところに惹かれて選びました。

エマニエル ● 私はすでに東京には留学をしたことがあったので、今回は少し地方の大学に行ってみようと思い、新潟を選びました。実際には海や山が見えて嬉しかったです。

嶋田 ● 2人とも自然を感じられるところに魅力を感じているんですね！アンドレさんは？

アンドレ ● 私が新潟に留学した理由は、新潟大学の研究室に入り、文化人類学を学びたかったからです。現在は新潟県における「部落差別問題をテーマに研究をしています。

嶋田 ● そうなんです。私の場合、留学はハードルが高く感じるのですが…。

エマニエル ● 私の場合、日本に留学した分、フランスでは留年しないといけないけど、それでも迷いませんでしたね。いい経験だから。

メイ ● 私も同じです。留年しないといけない。でも、留学は大事だし、いい経験だと思いました。将来のために。

アンドレ ● 大学には色々な人がいます。例えば自分とは国籍の違う人や色々な都道府県からきた学生など。自分と同じような専門の人や性格が似ている人だけでなく、自分の関係を広げて色々な人と交流をすることで、自分を成長させることができると思います。



●アンドレさん

教えて

あなたの

ゼミ・研究室

Niigata University

今回訪ねたのは理学部生物学プログラムの長束研究室。
細胞がもつ、とある分子の研究をしているそうです。

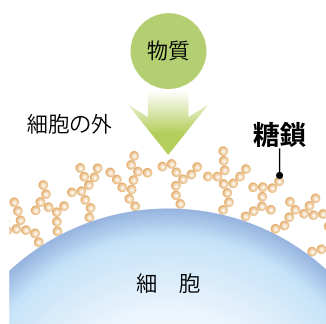
理学部生物学プログラム 長束研究室



長束 俊治 教授
ナツカ シュンジ

研究内容について 教えてください。

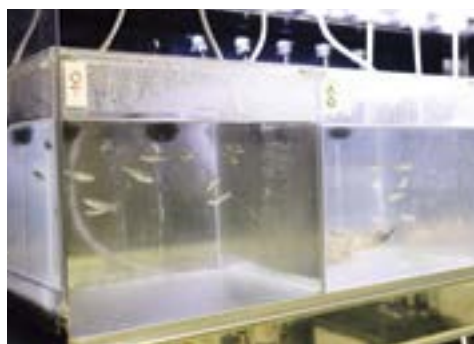
生物学の中でも特に糖鎖という分子を対象に研究をしています。「糖鎖生物学」という、できてからまだ30年ほどの分野です。糖鎖分子というのは各細胞の表面にあり、細胞の外から来たものと相互作用をする際の重要な情報源となります。体の中にある鎖状の分子はDNA、タンパク質、糖鎖の3つで



す。生物学の歴史の中でDNAとタンパク質については長年研究が進められていて働きがわかっています。糖鎖分子は何をしているのか詳しくはわかっていません。そこで、どこにどんな糖鎖があるのか片っ端から調べ糖鎖アトラス(地図)を作ること、糖鎖の働きを知りたいと思います。

この研究の魅力は どんなところですか？

新しい分野なので誰もやっていないところに自分のイメージで進んでいけるところです。世界中で注目されているような分野は、皆だいたい次に何をしたらいいかわかっています。寝食を削って研究すること、でいち早く発見をしようと思います。



魚は研究に使われているゼブラフィッシュ。発生の段階である特定の糖鎖が無い場合、体の形作りはどう影響するのかを調べている。

研究室に所属している学生に この研究室を選んだ 理由を聞いてみました！

糖鎖に関する研究の珍しさと先生の人柄に惹かれてこの研究室に入りました。実験には多くの失敗がつきもので落ち込むこともあります、その分成功したときの喜びは大きいです。先生はサイエンスのことになると厳しいことを仰るときもありますが、幅広い分野において物知りで話の面白い先生です。



自然科学研究科修士2年

沢 空樹さん
サワ タカキ

理学部生物学科4年

滝沢 麻里奈さん
タキザワ マリナ



長束先生の 学生時代のことについて 教えてください。

学部時代は専門よりも教養の講義の方が好きでしたね。この道に進んだきっかけは先生に連れられ研究会や学会に行ったときに学者の世界を知って、これなら自分にもできるのではないかと思ったからです。若かったんですね。

しかしこの分野はまだできたばかりで、ないものから1をつくるような研究なので、これからどうしたら謎の解明に近づけるのか全く分からないのです。だから自分で自由に発想できるという点が面白いのです。



新大生へメッセージを お願いします！

自分に合ったものを探すのではなく、今あることをとりあえず一生懸命にやってみるとそのうちそれが自分に合ったものになります。楽しいからやるのではなく、一生懸命やるから楽しくなる。順番が逆なんです。とりあえず目の前のことを一生懸命やってみましょう！

スタッフの 感想

今まで生物の分野については詳しく知りませんでしたが、今回お話を聞いて自分の体の中にまだたくさんの謎があることにわくわくしました。先生のお話はとても理解しやすく面白く、先生の人柄に惹かれてこの研究室を選んだという理由がわかりました！

大学生を送るうえで、やりがいや目標を持って活動している、輝く新大生を紹介するこのコーナー。CanSatプロジェクトの代表を務めたことがあり、現在も新たな目標に向かって日々挑戦している丸山耀さんにお話を伺いました。

憧れの航空宇宙分野への挑戦



工学部工学科機械システム工学プログラム3年

丸山 耀 さん
マルヤマ ヒカル

- 新潟県上越市出身 ●趣味:バイク、カメラ、旅行、ラーメンを食べること。
- 新大の好きな場所:工学力教育センター／いつも活動を行っている棟で、もはや家のような安心感。ここに行けば友人たちが(ほぼ)毎日いるし、3Dプリンタなどの機械も条件さえ守れば使わせてもらえるのでかなりお気に入りの場所。

学生でもできる

宇宙開発の機会に

— NICs (CanSatプロジェクト) とは？

小さな団体ですが。

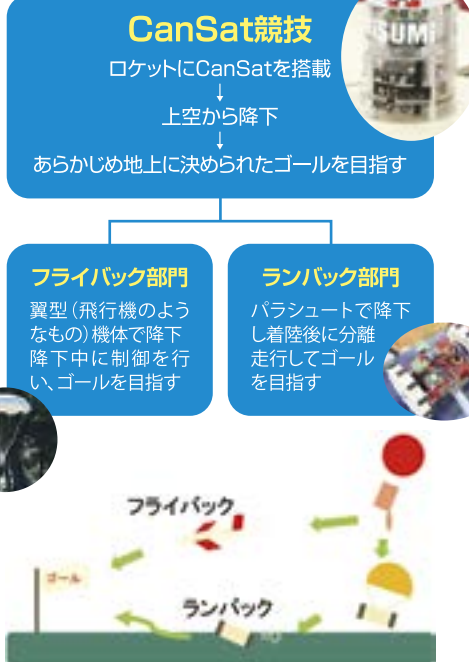
NICsでは、宇宙探査機を模したロボットの製作・大会への参加を行っています。CanSatとは、Can-satellite(空き缶サイズの模擬人工衛星)の略称で、世界最小の

宇宙開発ともいわれています。将来の宇宙人材育成のための事業として始まり、今ではミッションを設定してそれを解決することを目的に行われています。

NICsの参加部門であるフライバック・ランバック部門では、ペンキ缶ほどの大きさの機体を上空50〜100mのところから投下し、自動制御でどこまでゴールに近づけるかを競います。

CanSatとは？

空き缶サイズの模擬人工衛星のことで、実際の衛星と同様の技術を用いて制作される。この競技には2つの部門がある。



幼いころから好きだった
航空宇宙の世界に熱中

— この団体に入ろうと思ったきっかけはなんですか？

私は小さい時から航空宇宙が好きだったので、モノづくりプロジェクトの中で最も宇宙開発に近いNICsの存在を知り、入ることに決めました。

— 団体に入ってから活動について教えてください。

当初は、ロケットを作って打ち上げ、どこまで高く上げられるかを知ったり、高度や衝撃度についての情報が取れたりで、面白かったです。



機体を投下用のドローンへ搭載している様子

宇宙イベントを 踏まえての実験会

《8月初旬》

秋田県能代市で「能代宇宙イベント」が行われた。アマチュアの宇宙イベントとしては国内最大級のイベントで、NiCsは缶サット競技に出場。フライバック部門で優勝、ランバック部門で準優勝を収めた。

《9月27日》

新潟大学陸上競技場で、能代宇宙イベントを踏まえた缶サット競技の実験会が行われた。

今回の宇宙イベントでは素晴らしい成績を収めたものの、まだまだ課題意識があるようだった。この日はその課題に対処するための様々なデータを計測し、来年の同イベントの参考にするとのこと。

「缶サットの自動制御には、事前に適切なプログラムを組む必要がある」と話すメンバーの様子からも、こうした実験会などでの積み重ねが大切なことが分かった。



しかし、最初からロケットを作るとなると、設計やプログラミングが大変だと思いき、まずはそれらの知識を得ることができると考えました。1年生の時に行った能代宇宙イベントでフライバック部門を見て意欲が高まったこともあり、当時ZCSにはなかったフライバック部門を立ち上げることにしました。

最近では、当初の目標だったロケット部門にシフトし、先日の実験会では、自作したサランラップ大のロケット打ち上げに成功しました。今後は上空5000mまで打ち上げたいと考えています。



秋田放送さんより取材を受け対応している様子

これから失敗を重ねて成長し続けたい

丸山さん自身が成長したと感ずることはありますか？

以前よりもマルチタスクができるようになったことだと思います。代表を一年間務める中で、書類作成、後輩の教育、機器の作成など過密なスケジュールをこなさなければなりません。しかし、その中でも優先順位を設定して行動することができました。



会場テント内で作業している様子

今後やってみたいことはありますか？

航空宇宙に興味がありこの活動をしているので、将来はこの活動に関係ある分野に携わることができればいいと思っています。

また、学生であれば実験の失敗は許されること多いと思うので、今のうちにたくさん失敗を重ねて力をつけていきたいです。



静岡大学SATTさんと表彰式後の写真

瞬く間に過ぎていった一年間でしたが、臨機応変に動くことができたと思います。

やりたいことをやって、有意義な学生生活を送ろう！

最後に、新大生へのメッセージをお願いします。

やりたいことがあれば、とりあえずやってみてほしいです！協力してくれそうな人に勇気をもって話しかけてみれば、どんどんアドバイスをくれます。4年間しかない学生生活を有意義に使ってみるといいと思います！



スタツフ感想

丸山さんからお話を聞いてみて、小さいころから航空宇宙を好きだという強い思いが、今でも大きな原動力となっているのがとても印象的で、素敵なことだと思います。行動しなければ何も生まれませんが、失敗してでも行動することにより自身の力を伸ばしていることとしていくのがよかったです。

今後の私の学生生活にも生かしていこうと思います！

自分の居場所

OB・OG編

●工学部卒

太田祐貴さん

将来どんなことをしたいか迷っている新大生に向けて、社会で活躍する卒業生から話を聞き紹介するこのコーナー。今回は、工学部卒業生であり、現在、東北電力株式会社 送配電カンパニー新潟支社（設備計画）で活躍する太田祐貴さんにお話を伺いました。

プロフィール

太田祐貴さん

オオタユウキ

2009年3月に新潟大学工学部電気電子工学科を卒業。現在、当社の送配電設備に対する再生可能エネルギーも含めた発受電設備の連系申し込みへの対応業務を担当している。連系に必要な対策や技術的な要件、工事の内容などを示したり、発受電設備の運用開始に向けてお客様と打ち合わせを重ねたりしている。

企業情報

東北電力株式会社 送配電カンパニー新潟支社

新潟県内に12カ所の電力センターを配置し、日々のパトロールにより停電を未然に防ぐなど送配電設備の保守・運用および工事に関する業務を通じて、電力の安定供給を行っている。

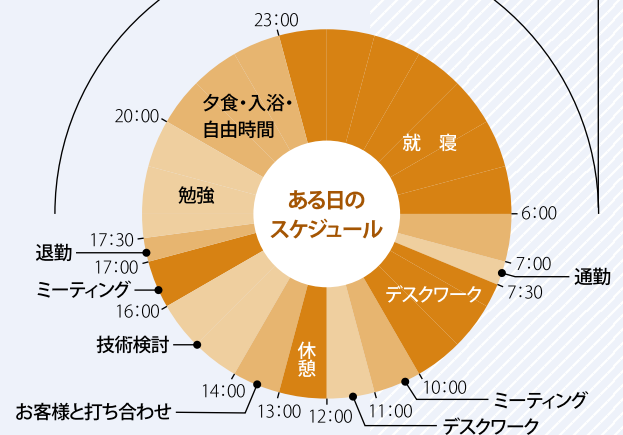
電気の重要性を実感して

Q

現在の仕事について

当社の送配電設備に対して再生可能エネルギーなどの発受電設備の連系を希望するお客様からの申し込みに対応する業務を担当しています。連系に必要な技術的な要件やお客様側に必要な対策、工事の内容などをお客様へお示ししたり、実際に設備の工事について、お客様と近い立場で打ち合わせを重ね運用開始に向けて進めたりしています。

この仕事を通じて、部署を超えたつながりの大切さを実感しました。現在の部署は、停電が起きた際には第一線に立つて現場に出る部署ではなく、現場に出ている方の情報を関係部署へ伝えたり、彼らが動きやすいように環境を整えたりしながら復旧対応を進めていくこともあります。その際には、部署を超えた社内の連携が重要だと感じます。



Q この会社を選んだきっかけ

大学1年生の時に豪雪の被害を経験し、電気の重要性を実感したことが大きいです。

自分のアパートが停電し、改めて電気が生活に不可欠なものであるということを感じました。その出来事が大学時代ずっと心に残っていて、電気にまつわる仕事に携わることができたらやり甲斐や責任感を持ちながら働いていけるのではないかと思います。その中でも東北電力を選んだのは、私自身が上越出身で新潟大学に進学したからです。新潟県の電気の安定供給に役立てる会社ということで選びました。

Q やりがいを感じる瞬間

紆余曲折を経て、お客様の発電所の運用開始に漕ぎつけた時ですね。お客様あつての仕事なので、想定外の事象が発生したり、変更の要望が寄せられたりと、一筋縄ではいかないことも多々あります。しかし、お客様の発電所が運用開始できた時は、達成感があります。

Q これからの目標

現在、再生可能エネルギーの連系は全国的にも注目されていて、実際にお客様からの申し込みや問い合わせも年々増えてきています。同時に業務量も増えてきていますが、お客様と一番近い立場でやり取りする重要な部署

だと認識していますので、可能な限りお客様に寄り添った丁寧な対応を引き続き心がけたいです。

Q 大学時代の話

真面目に勉強を頑張っていました。アルバイトは定食屋のホールや家庭教師、研究室に募集が来る電気関係のことをしていました。卒業研究では送電線関係の研究をしていて、超伝導（特定の物質を液体窒素等により低い温度にすることで電気抵抗がゼロになる現象の基礎となる研究をしていました。

Q 現在の仕事に活かしている大学時代の経験

大学生の時、電気関係の知識が必要なアルバイトをしたことです。夜間に

病院などで電気関係の重要設備の点検・清掃を行うことで電気の大切さなどを学び、就職先を決める際にも役立ちました。

Q 新たな好きな場所

物質・生産棟

研究で一番長く過ごした場所です。液体窒素を常に補充しながら行う実験の際、同じ研究室の仲間と24時間体制で交代しながら記録を取ったことが思い出に残っています。



新大生へのメッセージ

最初は勇気がいるかもしれませんが、少しでも興味を持ったことにはどんどんチャレンジしてほしいです。インターネットが普及し、いろいろな情報が得られる時代だからこそ、その中で興味を持ったものを実際に自分でやってみてください。将来やりたいことが決まっていなくても、自分から行動して経験を積むことが大切だと思います。



社内でミーティングをしている様子。

「ス・タ・ツ・フ」感「想」

太田さんは、私たちの質問の一つ一つに真摯に答えてくださいました。インタビュー内で「お客様に寄り添った対応を心掛けたい」と仰っていましたが、普段からこのように丁寧に対応なさっているのだらうなと想像ができました。また、雪害の経験をもとに、今の仕事を選ばれたという話を聞き、衝撃を受けた出来事に対しての感想をもとに、自分の進路を考えてみるというのも一つの方法だなと思いました。



知っていそうで知らないことや、身近にあるけど用途が分からないものなど、新大の「ふしぎ」を解明しちゃうこのコーナー！
今回は「六花寮の形は、新大の校章がモチーフ？」という情報が寄せられたので、調査してきました！



たしかに、言われてみれば校章にも似ているような…。
校章の下半分がモチーフになっているのかも？
施設管理部に確認してみよう！



施設管理部施設管理課 安達副課長に聞いてみました！

関屋地区にあった旧六花寮が築45年を経過し、老朽化が著しいため現在の六花寮への移転整備を行いました。この施設は近年における学生寮のニーズに応えると共に、社会性・協調性・国際性を兼ね備えた人材の養成を目指し、日本人学生と留学生による混住・ユニット型としました。4階建てで10名ずつ1つのユニットに分けられ、男女ともに10ユニットで各100名の寮生が住むことができます。

六花寮は①安全・安心・快適・規律、②自然との共生、③異文化との交流、という3つのコンセプトをもとに作られました。3つのユニットを120°ずつ展開し、個室、共有スペースの視線が交錯しないようにレイアウトされています。各フロアには寮生の交流スペースとなるホール、管理棟には全体交流スペースとして多目的ホールが設けられ、寮生どうしが交流しやすいつくりとなっています。

[六花寮のコンセプト]

コンセプト1

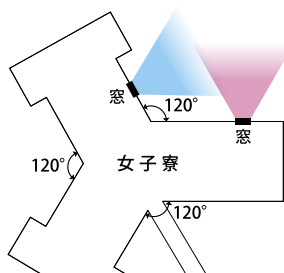
安全・安心・快適・規律

コンセプト2

自然との共生

コンセプト3

異文化との交流



ある日、新大広報スタッフがいつものようにメールチェックをしていると…。



1

お！
依頼メールが来てる！



2



入学前に寮について調べていたところ、六花寮は校章の形を模して造られたという情報を見つけました。ぜひ、新大広報さんに調べていただきたいです。

3

これは新大のふしぎとして取り上げられるかもしれない！真相を解明するためにも調査してみよう！



4

六花寮を探検！
六花寮の形は新大の校章！？

どうやら六花寮の形は…

六花寮の形は、新大の校章を模したものではなく、
六花寮のコンセプトを適えるための構造だったことがわかりました。
では、実際寮生みなさんはどのように感じているのでしょうか？
寮に暮らす2人に伺ってみました。



実際に寮生に聞いてみました！

1つ目のコンセプトについては、たしかに居住空間まで3か所でカードキーとなる学生証を通す必要があり、セキュリティ面では安心感がありますね。それに、窓から他の部屋は見えないですね。4階からは夕日が沈むのが見えるので自然を感じることもできます。



寮生同士の交流という面では、これからもっと交流を増やしていきたいと思い、今年の9月には卓球台を導入しました。留学生も含め、気軽に寮生が集える場となったらいいと思います。



法学部2年
南保天音さん
ナンボアマネ

スタッフ感想

今回は初めて、学生からの依頼をもとにふしぎを調査しました。
今回の取材では、六花寮の居住棟を見学してもらい、内部の構造まで調べることができました。また、六花寮は建て替え前の時代から通して、今年で100周年を迎えたそうです。六花寮には寮歌や寮祭、走ろう会などの独自の文化が存在し、この寮に住むからこそ体験できる生活があるのだらうなと思いました。



僕も、視線は気にならないなと思います。自然を感じられると言ったら、隣接している憩いの森ですかね。授業に行くときに近道としてよく通っています。

僕は、寮にある「走ろう会」というサークルに所属していて、毎週バレーボールやバドミントンをして寮生どうしの親睦を深めています。寮には寮祭もあって、寮祭では2日間にわたってスポーツ大会とビンゴ大会などを行います。サークルやイベントなど、寮生みんなで楽しめるように定期的に交流を行う場があります。



理学部2年
清水幸大さん
シミズ コウダイ

新大広報学生スタッフが、新大の部活・サークル活動にチャレンジ! レポート!
略してチャレポ!! 今回は写真部にお邪魔しました♪

チャレポ!!

Challenge & Report

Interview

●人文学部2年
佐藤穂香さん
サトウ ホノカ



●人文学部2年
滝沢智宏さん
タキザワ トモヒロ

写真部へようこそ!



■部員数/30人 ■活動日時/部会は毎週水曜日18:15~ ■活動場所/部会は総合教育研究棟、撮影会は新潟県内
■Twitterアカウント/@NiigataU_PhotoC ■Instagramアカウント/@niigatau_photoc
1年間の集大成 ▶ 冬季展 2020/2/16~23 駅南キャンパスときめいと

Q 活動内容について 教えてください!

佐藤 ●撮影会や講習会を行っています。撮影会は、予定を立てて遠出するものからゲリラ的に開催されるものまであります。講習会は、部員同士で撮った写真を紹介し合ったり、感想を述べ合ったりしています。春には、新入部員向けの機材の講習会も行いま

す。
滝沢 ●年に3、4回ほど写真展をやっているのですが、写真展の前にはその準備もありますね。写真を大きく印刷して、額に入れたり発泡スチロールに貼り付けたりして展示用の作品を作成します。

Q コンテストなどはあるのでしょうか?

滝沢 ●出品したい部員が個人で一般のコンテストを探して、応募することが多いです。

佐藤 ●多くの人が参加するものとしては、新潟大学と株式会社日本政策投資銀行が合同で開催している「新潟ハンドブック写真コンテスト※」があります。このコンテストでは、本部から2年連続で受賞者を輩出しています。

※新潟ハンドブック 写真コンテスト
新潟大学と連携協定を締結している日本政策投資銀行が発行する「新潟ハンドブック」の制作にあたり開催している写真コンテスト。新潟の魅力をもっと伝えるとともに、若者たちがこれからの新潟をつくっていくという観点から実施している。

Q 写真部の魅力は どんなところですか?

佐藤 ●自分のペースで写真を撮ったり、部員と交流したりできるところですね。部活ではありませんがストイック過ぎず、楽しい雰囲気です。活動できているところが気に入っています。また、部で所持している機材も貸し出せるので、初心者の方でも気軽に始められます。

滝沢 ●楽しく交流しつつ、写真の技術を向上させられるところも魅力だと感じます。

入部時の部員の経験値はそれぞれですが、活動を経ていくうちに全員が基本的なカメラの技術を習得できています。学んだことを撮影会で実践し、それを講習会で反省し、良い作品は展覧会で評価し...という良いサイクルが出来上がっているからだと思います。

Q 写真部で撮影した思い出の1枚を見せてください!

滝沢 ●今年の4月に、新入生と行った撮影会での1枚です。白山公園や古町周辺を回っているような景色を撮りました。これから新しい仲間と活動していくんだな、と気持ちも新たにしました。

佐藤 ●私は、留学生が帰国する前の最後の部会で撮った写真ですね。仲良くしていたので帰国してしまうのは悲しかったのですが、みんな笑顔で写真を撮れて良い思い出になりました。



滝沢さんの
思い出の1枚



佐藤さんの思い出の1枚

左から今井、布施、鈴木(蒼)



鳥屋野潟公園での撮影会に参加してきました！

写真部部員に交じって鳥屋野潟公園での撮影会に参加してきました！カメラ初心者の方たち新大広報スタッフに撮影のコツを教えてくださいました。例えば、被写体によってレンズを変えてみる、角度を変えて撮ってみるなど様々なアドバイスをいただき、1日でレベルがグンと上がったような気がします！部員のみなさんとコミュニケーションを取りながら撮影ができて、とても楽しく参加させていただきました。

撮影のポイント

1. F値を下げて背景をぼかす
2. まっすぐ撮らず上、下、横から撮ってみる
3. ISO感度を変えて明るさを調整

部員の方から教わったポイントに従って実践！

まずはカメラの使い方から教えていただきました。



Before



After



【写真部員講評】

F値を調節して手前にボケができたこととアングルを俯瞰から水平にしたことで、柔らかさが生まれ写真のテーマが明確になり、撮影者の意図が伝わる写真になりました！

一眼レフなどを持っていなくても、自分のスマホのカメラや部で所持している機材を使って気軽に参加できます。

頭を使う ← ★ → 身体を動かす
1人で ← ★ → 大勢で
始めやすい ★ → 経験が活かせる

スタッフの自信作



撮影：今井



撮影：布施



撮影：鈴木(蒼)

このコーナーでは、新大生のために簡単なレシピや食に関するお役立ち情報をご紹介します。今回は、サンドイッチなどを作る際に余ってしまうパンの耳を使ったパングラタンのレシピを紹介！学生の部屋にもある魚焼きグリルで簡単に作ることができるので、ぜひ挑戦してみてください！



魚焼きグリルで パングラタン

材料(1人分)

パンの耳…3枚分(6枚切り) …39円
ベーコン……………1枚(20g) …50円
玉ねぎ……………1/8(20g) …8円
ピザ用チーズ…大さじ2(15g) …13円
★ 牛乳……………25mL …14円
粉チーズ…大さじ1(6g) …31円
卵……………1個(50g) …19円
塩コショウ……………少々

(参考価格) **174円**

作り方

1 パンをしき、卵液を流す

グラタン皿に3cm大に切ったパンの耳をしきつめ、
★をよく混ぜたものを流し込む

2 具材をのせる

薄切りにした玉ねぎと一口大に切ったベーコンを
1に入れ、その上にピザ用チーズをのせる

3 グリルで焼く

2にアルミホイルを被せ、魚焼きグリルで中火で8分
加熱する。アルミホイルを外してさらに加熱しチーズ
に焼き色がついたら完成！

かんたんレシピをご紹介します！



監修：教育学部 山口智子先生

グラタンは失敗からできた料理？

寒〜いこれからの季節、アツアツのグラタンは体を芯から温める定番メニュー。こんがりとした焦げ目が食欲を一層掻き立てます。そのグラタンのルーツをみなさんご存知でしょうか？グラタン(Gratin)はフランス語で「おこげ」あるいは「焦げ目をつける」を意味しており、フランス料理では「オーブンなどで表面を焦がすように仕上げた料理」を指します。調べてみるとルーツは諸説あるようですが、フランスのドーフィネ地方の郷土料理が発祥で、鍋の底あるいは蓋の裏側に焼きついて焦げた部分が美味しかったところから生まれたと言われており、そのため、鍋にこびりついたおこげを「掻き取る」という意味のフランス語「gratter」が語源となっているようです。言わば失敗から生まれたおいしいグラタン。失敗も時には大切ですね。

コラム



特集 密着! 留学生の新大ライフ
留学生オススめ × 新潟市内観光スポット

@ぼんしゅ館 新潟驛店

P.04 >

特集のオススめスポット取材では、私たちスタッフも取材をしながら、新潟市を満喫していました! ぼんしゅ館では、成人スタッフも留学生と一緒に日本酒を試飲!

自分の居場所 — 学生編 —

P.09 >

実験会の取材の際、新潟大学陸上競技場に行くべきだったのに、間違えて新潟市陸上競技場に行ってしまいました!



ひとりdeli

魚焼きグリルで パングラタン

P.17 >

ひとりdeliの撮影の際に余った食材を使って、スタッフの一人が手料理をふるまってくれました! サラダ油や調味料がない中、きれいな“玉ねぎのオムレツ”が完成! とても美味しく頂きました。今後にも期待です♪

新大広報 公式Twitter

もっと新大広報を知りたいあなたに!
新大広報公式ツイッターアカウントをご紹介します!
紙面に載せきれなかった取材の裏側や、
制作の様子を随時、つぶやいていきます。
さらに、動画もツイートしています!
ぜひ、フォローしてください♪



Follow me! /



編集後記

今号では、様々な国から新大に集まる留学生の皆さんを特集として取り上げました。普段あまり留学生と関わる機会がない私も、この特集を通して以前より親近感が増した気がします。また、今号からデザインを大幅リニューアルしています！ぜひ以前の冊子と見比べながら楽しんでいただければ嬉しいです。

新大広報編集長 目黒 恵梨

学生スタッフ

法学部3年 目黒 恵梨	創生学部1年 布施 英梨花
人文学部3年 高橋 映華	人文学部1年 今井 英
工学部2年 鈴木 蒼生	人文学部1年 池田 日向子
創生学部2年 鈴木 悠希	教育学部1年 梅津 秀平
創生学部2年 小野木 靖華	法学部1年 藤田 樹
医学部2年 関根 梓	法学部4年 嶋田 麻美

職員スタッフ

学生支援課 菅原 瑠璃香	広報室 青柳 卓也
留学交流推進課 石栗 慎也	

個人情報の取扱いについて

■新大広報では皆様からお預かりした個人情報につきまして、責任をもって管理することをお約束いたします。
■アンケートや誌面へのご意見、掲載希望他、お預かりした個人情報は新大広報の企画の参考にさせていただきます。この目的以外に使用したり、第三者に提供したりいたしません。

2019年 冬号 [No.213]

2019年12月発行

編集・発行／『新大広報』学生スタッフ

新潟大学学務部・新潟大学広報室

印刷／(株)第一印刷所



新大広報が リニューアルしました！

いつも読んでくださってありがとうございます！

なんと、今号から新大広報が生まれ変わりました！

写真をメインにし、より読みやすいデザインに。

これからも新大広報をよろしく願います。

スタッフ
募集!!

私たちと一緒に新大広報を作りませんか？

新大広報では随時、学生スタッフを募集しています。企画から、取材、記事の作成、編集まで学生が主体となって活動しています。



<応募方法>

下記のメールアドレス宛に

- ①学部・学年・学籍番号・氏名、
- ②「学生スタッフ希望」と書いて送信してください。

新大広報編集室

nu-press@adm.niigata-u.ac.jp

新大広報 Back Number

新大広報のバックナンバーは新潟大学ホームページで公開しています。また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。

新大広報

検索



Follow us!

新大広報公式
Twitter



新潟大学公式SNS



Twitter



Instagram



Facebook

新潟大学ホームページ

<https://www.niigata-u.ac.jp/>